

道
守

みちもり

MICHIMORI
TSUSHIN

通信

vol.33 秋号



平成29年7月 九州北部豪雨災害

みちづくし in 宮崎 2017

神話と雄大な景観を楽しんで
道育(ドウイク!?)～道守の明日に向かって～

風景街道を行く

最初に「阿蘇・くまもと路」を歩こう

古代から、道は人々の共有財産であった。力を合わせ道普請し、守ってきた。道は街を作り、産業を興し、文化を選び、人々を結びつけた。つい、この間まで、子どもたちがキャッチボールし、縄跳びなどで、明るい歓声が響いていた。お年寄りらは、縁台で将棋をさし、ほうきで道を掃き、水を撒くお母さんの姿もあった。そんな「日本の原風景」は何処へ行ったのだろう。

確かに、高速道路やバイパスなど、道は整備され、日本の高度経済成長を支え、豊かな暮らしをもたらした。しかし、多発する事故、渋滞、大気汚染、騒音。何より、車優先社会は、人々の心を道から遠ざけてしまった。自宅前のごみや雑草さえ知らん顔。それどころか、空き缶のポイ捨て、家庭ごみの投げ捨てが日常的な風景になってしまった。

そんな現状に、心を痛め、清掃や花壇作り、植樹に取り組む人々が増えていく。行政まかせから、「道はみんなの財産」という意識と行動。新しい「公」への動きが芽を出しているのだ。行政と住民が手を携え「協働」で道を守るという新しい意識の潮流。そこから生まれた九州各地の活動が、合流し、大きな流れになってゆく。「道守九州会議」の誕生だ。

道守。その由来は遠く万葉の昔にさかのぼる。道を管理し、守り、旅人の飢えと渴きを癒す果樹を沿道に植えたという。現代の道守は住民と行政が協働し「道と人の新しい縁」を紡ぐ。さあ、新しい道に一歩踏み出そう。



草千里（阿蘇市）

CONTENTS

01 巻頭インタビュー

豪雨災害、迅速な初動対応
道守会議は「公と個」を繋ぐ場
増田博行（九州地方整備局長）

02 平成29年7月 九州北部豪雨災害

04 みちづくし in 宮崎 2017 神話と雄大な景観を楽しんで

06 道育(ドウイク!?)～道守の明日に向かって～

08 分科会

10 わたしの好きな道 久住の財産・芝生の歩道 2.6km ～県道阿蘇くじゅう公園線～ 原 千砂子

11 私たちの道守活動

14 風景街道を行く 最初に「阿蘇・くまもと路」を歩こう

16 海外道事情 東アフリカの道づくり 雨季は道路が濁流の川に 安部勝也

17 道守人物伝・道守たちのトピックス・横顔・編集後記

表紙画：久富 正美

1935年福岡県生まれ。「小さい旗」同人。グループ「五架会」会員。

巻頭 インタビュー

HIROYUKI MASUDA 増田博行

（九州地方整備局長）

豪雨災害、迅速な初動対応 道守会議は「公と個」を繋ぐ場



もあって、今回の豪雨では指揮命令系統が迅速に機能しました。被災した現場・地方自治体はどうしてもパニック状態になりますし、経験と技術を持つ職員をいかに確保して、現地に送り込めるかがポイントでしょう。また、ドローンも大きく役立ちました。ヘリなどと違って、こまめに狭い所でも飛べるし、効率的に、現場の情報収集でき、初動対応、復旧に貢献しました。

桑野さん 被災に迅速に対応できる体制が求められます。地方自治体には技術者が不足していますしね。

増田局長 技術者の数は限られています。今回もOBの皆さんがボランティア的に技術支援して頂きました。しかし、一定期間継続的に支援となると単なるボランティアでは厳しい。そのような（技術者確保の）体制がうまく組めないか、仕組みづくりも今後の課題の一つだと思います。町の約4割、村の約8割には、土木技術者がいない。朝倉市も東峰村も厳しかった。初動はリエンやテックフォースの緊急支援を受けても、復旧から復興へ、さらに、まちづくりへの支援となると、国も職員が減少し継続的に支援の仕組みを取りづら。個人的考えですがOB活用

の仕組みが取れないか、と思っています。 **桑野さん** 専門チームですね。全国共通の課題で実験的にも行おうという機運はあります。

増田局長 防災エキスパート、災害査定経験者。あるいはそのような団体、民間の技術者を含めた専門チームとコラボする等継続的に安定的に一定レベルを行政機関として確保してゆく。ボランティアでは限界があります。仕事として成り立たないといけないと思います。

桑野さん 道路にしても、河川にしても復旧はスピード感を持って対応することが重要です。 **増田局長** 国土交通省、整備局は初動で「リエン（情報連絡員）」次いで「テックフォース（緊急災害対策派遣隊）」を派遣し対応するのですが、熊本地震の経験

桑野さん 九州の被災地を今後、どのように復旧、復興してゆくの、大きな関心もたれています。

増田局長 熊本地震について言えば、復旧方針は概ねできていますから、国道57号北側復旧ルートはもとより、国が代行している国道325号阿蘇大橋、県道熊本高森線（俵山ルート）等についても、しっかりと復旧してゆきます。市町村道の復旧に対する技術的な課題についても県と連携しながら支援してゆきたい。インフラ復旧だけでなく地域全体をどのように元気にしてゆくかは、総合力の勝負だと思っています。

桑野さん 福岡、日田などの山間部では河川被害が大きく、課題が残りました。 **増田局長** 6月に河川法が改正され、河川についても、国が権限代行できるようになりました。その適用第1号として福岡県管理の赤谷川水系を国が代行して応急復旧しています。砂防もあります。今後、学識者等による委員会の結果を踏まえて、県が復旧計画を策定してゆく中でどのような国の役割を出してゆくかです。

桑野さん 今年のみちづくし大会は宮崎市で開かれます。道守九州会議は発足13年になります。

増田局長 発足当時、私は福岡国道事務所長でした。13年間しっかり活動が続いていることは、素晴らしい事で、本当に嬉しいですね。よく行政と市民と言いますが、対立図式ではなく、一緒に良い空間・環境をつくってゆこうと言うときに、道守会議は行政と個人を繋ぐ場として、その役割は非常に大切だと思います。

桑野さん 道は一步、家から出るとすぐつながる「公」なので、その重要性を感じる事ができます。

増田局長 先日地震で不通となっていた阿蘇長陽大橋（南阿蘇村）の開通式に「24時間、（工事を頑張ってくれて）ありがとうございます。ご苦労様。」と書いた紙が張り出していました。この橋は2学期に間に合わせようと復旧を急ぎました。スクールバスを利用している小学生の女の子がお礼の作文を読んでもくれたのですが、感動しました。県道熊本高森線（俵山ルート）も、う回路の開通式がお正月に間に合わないのではないかと懸念していましたが、現場の頑張りでクリスマススイプに開通できました。

桑野さん 新学期に間に合わせようと、みんなの気持ち共有できた。それが復興の光ではないでしょうか。国は「道路協力団体」制度を発足させましたが、大分でも評判はいいです。この狙いはどこに？ **増田局長** 道路空間をいかに市民の皆さんと一緒に活用すべきかという一つの仕組みとして整えました。道守会議のような団体を信用できるパートナーとして位置づけし、活動しやすくする仕組みです。占用許可が必要だったものが「協議」でよくなったとか、イベントなどで収益をあげるとか、道路協力団体としての業務を適切かつ確実に行うことができる法人等を認定します。

桑野さん 市民活動だけでなく、行政職員の積極参加も求められています。 **増田局長** 行政組織の一員という立場と、その職員個人という立場の両方あると思います。行政組織としては、市民と協働することが必要だという意識に変えてゆくべきだろうと思います。時間はかかるでしょうが、まず国が、そして市町村もそういう意識に変わっていただきたい。行政という大きな船ですから時間は

■プロフィール
昭和35年4月19日生まれ。福岡市出身。昭和60年建設省入省。鹿児島県道・福岡国道事務所長、福岡県県土整備部長。定年後、道路局環境安全課長、企画課長及び大臣官房審議官を経て平成29年7月7日現職。

世話人 桑野和泉

7月5日から6日にかけて福岡県、大分県に梅雨前線に暖かい空気が流れ込んで積乱雲が次々にできる「線状降水帯」が発生し、観測史上最も多い、記録的な大雨に見舞われた。その中で、24時間降水量が朝倉市で約1,000ミリ、東峰村や日田市、大刀洗町で約600ミリと驚異的な豪雨となった。

7月5日17時過ぎに福岡管区気象台は朝倉市や久留米市、日田市など31市町村に九州地方で初めて「大雨特別警報」を発表し、警戒を呼びかけた。福岡・大分両県では、10市町村から避難指示を出されたものの、朝倉市や日田市、東峰村では一時、孤立集落が発生するなど甚大な被害となった。

この災害による犠牲者は、9月7日現在、福岡県朝倉市で30人、東峰村で3人、大分県日田市で3人の計37人の死亡が確認され、朝倉市で4人が行方不明となっている。

「線状降水帯」驚異的豪雨 死者不明41人、流木と土砂が襲う

今回の災害は、大雨の影響で斜面崩壊により立木と土砂が流出し、氾濫した河川は洗堀されて流れが変わり、道路は寸断され、家屋は倒壊し、流木と共に家屋や車両などが一気に流され、集落の様相を一変させた。

東峰村や朝倉、日田地域では、国道をはじめ県道や市町村道が被災したため、各地で集落が孤立し、救命・救急活動に支障をきたした。

被災地の復旧が迅速に行えるよう国土交通省は全国からテックフォースを被災地に集結させ、一刻も早い被災状況把握と災害復旧の技術支援を行った。

また、7月5日深夜、福岡県から孤立した東峰村の主要道路である国道211号の啓開を要請され、九州地方整備局北九州国道事務所と福岡国道事務所は211号の啓開工事を開始し、7月14日13時に緊急車両が通行できることとなった。

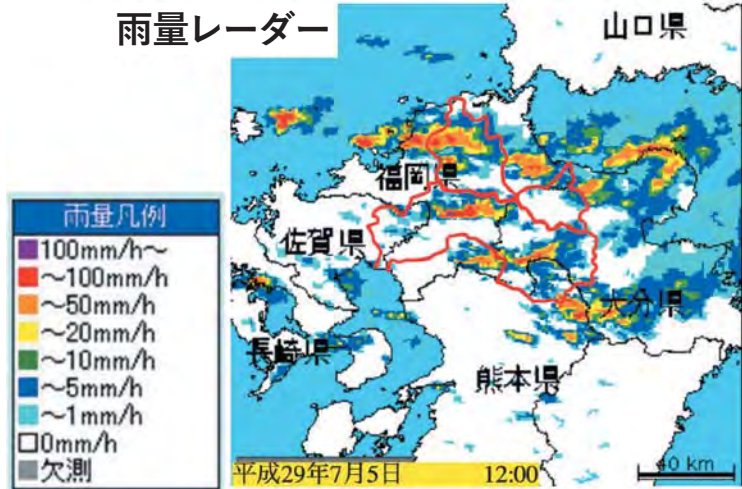


朝倉市 福岡県道509号塔ノ瀬十文字小郡線 佐田川 被災調査



朝倉市宮野 比良松中学校 桂川 護岸被災 中学校も被災

雨量レーダー



平成29年7月九州北部豪雨

九州北部では、梅雨前線の影響で積乱雲が次々と発生

線状降水帯ができて同じ場所で強い雨が継続して降った

九州北部豪雨道路を確保せよ！

～国道211号の道路啓開ドキュメント～

《概要》

朝倉市、東峰村、日田市など、河川氾濫や土砂崩れなどの被災情報が刻々と寄せられる中、国道211号についての被災情報も報告された。国道211号の被災により孤立集落が発生し、東峰村役場も211号の沿線に位置しており、早急の道路機能の確保が求められた。そのため、7月5日の夜には、福岡県から九州地整備局に対して、

嘉麻市桑野・東峰村福井間（L1121km）について、道路啓開の支援要請があった。要請を受け、九州地方整備局では、北からは北九州国道事務所、南からは福岡国道

事務所が担当することを決め、両事務所への指示を行った。両事務所では、翌日早朝より被災調査、道路啓開が行えるよう、両事務所、道路部内の体制構築を図り、1週間にも及ぶ「国道211号道路啓開」がスタートした。

《主な経緯》

・7月5日 22:00 福岡県からの道路啓開要請
・7月6日 6:00 被災調査第1陣出動
10:40 嘉麻市桑野地先にて道路啓開開始（北九州国道）
11:00 東峰村福井地先にて

道路啓開着手（福岡国道）
13:30 放置車両を災害対策基本法に基づく強制撤去を実施
8:00 放置車両撤去完了
11:15 TEC-DOCTERによる現地確認
・7月9日 早朝 斜面崩壊部の専門家診断
・7月14日 13:00 道路啓開完了（緊急車両通行可能に）
★特に被災の大きかった11箇所について、概ね8日間で啓開を完了した

《今回の道路啓開を通じて》

・備え

今回の道路啓開では、事前の協定提携している北九州福岡国道事務所、福岡国道事務所の「災害時協力会社」15社（コンサル込19社）が24時間体制で無事故での工事が

今回の豪雨では、これまでに経験したことのない雨量により、国道211号が被災しました。

国土交通省には、被災直後よりテックフォースの支援をうけ、最初にドローンを飛ばしてもらったことで、被災箇所を素早く把握することができました。その後の啓開については、北から北九州国道事務所、南からは福岡国道事務所の職員の方々に、昼夜を問わず、必死の啓開作業を行っ

東峰村村長 渋谷博昭

いただいたきました。その結果、わずか7日半という、本当に驚異的なスピードで開通することができました。国道211号は東峰村を南北に走る主要道路です。住民生活に必要な不可欠なこの道路をいち早く開通していただいたことは、住民の安心・安全を確保することに繋がったと思っています。



関東地方整備局のTEC-FORCEの第1陣が、「東峰村道の被災調査(及び計画)」を行い、7月11日に村長への報告書の手交を行った



10月5日6日、宮崎市で開催

「みちづくし in 宮崎2017」 神話と雄大な景観を楽しんで

宮崎市は、宮崎県の政治、経済、教育、文化の中心地となる県都で、南北40kmにわたる海岸線を有しており、太平洋に沿って流れる黒潮によって一年を通して温暖な気候風土に恵まれている自然豊かなまちです。この地域特性を生かして生産される「宮崎牛」、「完熟マンゴー」や「完熟きんかん」などの農産物は、全国でも高い評価を得て

おります。宮崎最大の繁華街「ニシタチ」では、こうした宮崎の食を食べることが出来る場所として、県外の観光客も数多く訪れています。

また、温暖な気候と晴天率も高いことから、毎年1月の後半からは、プロスポーツチームのキャンプシーズンとなります。「読売巨人軍」「福岡ソフトバンクホークス」「オリックス・バファ

ローズ」のプロ野球3球団のキャンプをはじめ、今年はJリーグも13チームが宮崎市でキャンプを行いました。さらに今年はWBCに出場した「侍ジャパン」の合宿や日本男子短距離の強化合宿が行われ、多くの観光客でにぎわいました。

さらに、本市は神話発祥の地としても知られています。「江田神社」や「みそぎ池」など日本神話ゆかりの地が多く点在しております。特に、市内の中心部にあります「宮崎神宮」は、神武天皇を主祭神としており市民にも親しまれている観光地で、毎年10月には歴史絵巻のような御神幸行列がメインストリートを通り、多くの見物客で賑わいます。

本市には、県内有数の人気の観光スポット青島があります。奇岩「鬼の洗濯板」に囲まれている「青島」が有名で、島内には特別天然記念物に指定された「青島亜熱帯性植物群落」が群生し、島の中央には海幸、山幸の伝説で知



青島



堀切峠 道の駅フェニックス



去川 大銀杏

られるヒコホデミノミコトを祭神とし縁結びの社として知られている「青島神社」があります。

また、GWから10月末にかけて、美味しい食と居心地の良い空間をお楽しみいただける「青島ビーチパーク」も開設しており、連日、ビーチで自分のスタイルでのんびりとした時間を過ごす方で賑わいを見せます。さらに、青島から南へ4km行くと、日南海岸随一の雄大な景観が展望できる「堀切峠」があり、近くには日向灘の絶景を一望できる「道の駅フェニックス」が観光名所となっています。

その他にも、国の重要文化財に指定されている本部の朱と軒間の緑が美しい本殿のある「巨田神社」や、樹齢800年の「去川の大銀杏」、すっかり冬の風物詩ともなっており、日本農業遺産の指定を目指している「大根やぐら」など、歴史や四季を感じることで名所・名跡等が、本市には豊富にあります。

昨年には、東九州自動車道が全線開通して交通の便も改善し、自家用車で旅もさらに便利になりました。ぜひ本市にお越しいただき、車旅を楽しんでいただくとともに、おいしい宮崎の食をぜひご堪能ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

ごあいさつ

九州各県の道守会員による交流会「みちづくし in 宮崎2017」が宮崎市で盛大に開催されますことは誠に喜ばしく、心からお祝い申し上げます。

皆様におかれましては、日頃から「道」に愛着を持ち、その「道」の清掃美化や、歴史文化の発掘・継承など、様々な道守活動にご尽力いただき感謝申し上げます。

本市では「食」「スポーツ」「神話」「花」といった宮崎らしさを生かして、「地産地消」や「地産外商」を展開しながら、オンラインのまちづくりを進めております。2日目の現地体験学習ではそういった取組を感じていただけるコースも準備されており、宮崎の魅力を感じていただけるのではないかと期待しております。

結びに、今回の交流会及び交流集會が皆様にとって実り多きものとなることを祈念いたしまして、挨拶に代えさせていただきます。

宮崎市長 戸敷 正

宮崎の見所、ぜひ来んね

■西郷隆盛宿陣跡資料館

【県北 延岡市】

西南の役最後となる延岡、和田越の決戦に敗れた西郷隆盛が、明治10年8月15日から17日の夜の可愛嶽突破まで宿陣した場所です。天皇家の祖である天孫ニギノミコトの御陵墓のすぐ近くにあり、政府軍が御陵墓に向けて鉄砲や大砲を撃つことができないと考えて、この地に宿陣したと考えられています。最後の軍議場面を表した西郷隆盛などの人形の他、資料館には西郷隆盛が愛用した硯・船型枕などの遺品も展示されています。（開館時間は9時から17時まで。休館日は祝祭日を除く月

■都農神社

【県央 児湯郡都農町】

日向国の一之宮であり、神武天皇が東征にあたり航海の安全や武運長久を祈願した地として伝わっています。境内にある「撫で大黒」は病氣平穏・子授け・商売繁盛に、「撫でうさぎ」は無病息災に御利益ありといわれています。道の駅都農とも隣接しているので、ぜひお立ち寄りください。

■都井岬

【県南 串間市】

純粋な日本在来馬として国の天然記

■関之尾滝

【県西 都城市】

日本の滝100選に認定された滝で、大滝・男滝・女滝の3つの滝からなります。長さ600m、最大幅80mにわたる甌穴群は世界一と言われており、秋は紅葉もきれいに色付き、記念撮影におすすめの場所です。ちなみに、「甌穴」とは、岩が小石で削られてできる穴です。入り口付近には全国でも珍しい「滝」の駅があり、都城の地場産商品が置いてあります。



都農神社



西郷隆盛宿陣跡資料館



都井岬



関之尾滝

道育(ドウイク!?) ～道守の明日に向かって～

みちづくし in 宮崎2017
道守九州会議交流会

8年ぶりの開催となる今回のテーマは「道育(ドウイク!?)」道守の明日に向かって～」です。

1日目の交流会では、「新たな活動の担い手不足」「活動を支え発展させるための資金不足」「活力の低下の懸念」など現在、道守会員が直面している課題を突き詰めて考える場となるよう、以下の4つのテーマによる分科会を開催します。

四つの分科会

【①道守の人材確保・育成について】

道守が発足して約13年が経過し、道守会員の高齢化や担い手の人材確保、後継者の育成について苦慮している状況があると思います。今後も道守活動を継続していく上で重要課題の一つと言える本テーマについて意見交換を行います。

「各県発表者：道守ふくおか会議(NPO法人)はかた夢松原の会 理事長 磯谷慶子氏」、
道守かごしま会議(札元商工親睦会西之園実秋氏)」

【②道守活動の資金調達について】

各県道守活動において助成金等を活

動資金としているところが多いのが現状ですが、近年、助成金も減少しており活動資金の確保が難しい状況であります。道守活動における資金調達について意見交換を行います。

「各県発表者：道守佐賀会議(多久市そ

【③道守と地域との連携について】

各県道守において、地域(道の駅、シーニックバイウエイ、学校等)との連携が上手く取れている事例など発表をしていただき、意見交換を行います。

「各県発表者：道守大分会議(NPO法人大分研究所 主任研究員 加藤 千明氏)、
道守みやざき会議(酒谷むらおこし株式会社《道の駅酒谷》代表取締役 日高茂信氏)」

【④まち歩きを通じた地域活性化について】

まち歩きが活発な県において、まち歩きにおける道守との関わりや今後の連携の仕方、また、まち歩きを通じた地域活性化について意見交換を行いま

す。

「各県発表者：道守長崎会議(NPO法人道守長崎 理事 牧圭子氏)

道守くまもと会議(合同会社フットパス研究所 濱田孝正氏)」

分科会終了後には、全体会を開催し各分科会が出た意見等を報告し、発表者および参加会員全体で意見交換を行います。

現地体験学習会

3つのコースで皆様をお迎えします。

【Aコース】

《植栽、宮崎県庁見学コース》
宮崎らしい景観を飾るフェニックス(宮崎県の県木)が印象的で、宮崎市のメインストリートでもある「橘通り(国道220号)」で皆さんと一緒に植栽しませんか。

また、橘通りで道守活動を実施している団体さんが彩った花壇や植栽活動の自主財源確保に



宮崎県庁

向けた取り組み、『橘通フラワーサポート・システム』の活動も是非ご覧ください。

そして、九州では唯一、戦前から残る県庁舎、宮崎県庁内をボランティアガイドの案内で巡ります。

【Bコース】

《オープンガーデン見学コース》
道守会員の団体さんが実施されている、オープンガーデン見学会。Bコースの中でも二手に分かれてバスで個人の庭園を巡ります。それぞれのご家庭の個性あふれる美しい庭と、庭主との会話を楽しみませんか。道守会員の個人宅もコースに盛り込まれています。ぜひご参加ください。

【Cコース】

《道の駅ニ駅巡りコース》
「宮交ボタニックガーデン青島」「道の駅フェニックス」「道の駅なんごう」「道の駅酒谷」をバスで巡ります。

「宮交ボタニックガーデン青島」では、広々とした園内や高さ14mで総ガラス張りの「大温室」などにおいて、ブルーゲンピリアをはじめエキゾチックで美しい花々をご観賞ください。

「道の駅フェニックス」は、美しい海が見渡せる絶好のビュースポットで、店

頭で販売しているソフトクリームは当地ならではの味(マンゴーなど)で大人気です。

「道の駅なんごう」は、



宮交ボタニックガーデン青島

宮崎県南部の国道448号線沿いであり、日向灘を望む海岸線は無類の景勝地です。素晴らしい景色を眺めながらお昼のひと時をご堪能ください。

「道の駅酒谷」は、茅葺き屋根が目印の道の駅で、「道の駅」の収益を地域の自治組織に還元し、住民主体の自治・交流活動の拠点を形成していることで、平成28年度住民サービス部門モデル道の駅として、国土交通大臣に認定されました。



道の駅酒谷

「みちづくし in みやざき2017」の開催にあたりまして多くの関係者の皆さまのご協力をいただき準備を進めることができますことを心より御礼申し上げます。

昨年の熊本地震そして本年7月の九州北部豪雨によりまして多くの皆さまが被災されましたことに心よりお見舞い申し上げます。これらの災害によって、多くの尊い人命が奪われるとともに道路をはじめとした数多くのインフラにも甚大な被害を受けました。

道路が甚大な被害を

受けたことにより、私たちの生活にも大きな

影響が生じました。人々や物資の行き来ができなくなり、人々の生活や経済に大きな影響を与えました。日常生活において道を当たり前のように利用できる有難さを再認識するとともに、道はまさに命の道であり生活の道であり、人々をつなげる道であることを痛感した次第です。

今回の宮崎での「みちづくし」開催は、2008年以来の2回目となります。今回のテーマは、「道育」です。道は、私たちの生活に

道守と共に、未来を拓く

とって不可欠なものです。「道を育む」ことの大切さを再認識するとともに、「道守活動を今後どのような課題に対応すべき時期にきていると感じています。それらをより多くの皆さんと語りながら道守活動の未来を切り拓きたいとの思い

から、今回は4つの分科会を立ち上げます。第一分科会は、「道守の人材確保・育成」です。道守活動発足後約13年が経過し、活動の担い手の高齢化や後継者の育成に苦慮している現状をふまえ意見交換を行うものです。第二分科会は、「道守活動の資金調達」です。道守活動において助成金等を活動資金としているところが多いと思いま

すが、近年その確保が難しくなっているケースもみられます。資金調達をいかに図るかを学びあいた

道は、私たちの暮らしに欠かせないものです。古代から、人々は

共有の財産として力を合わせて道を作り、道を守ってきました。そして暮らしを支え、産業を起し、文化を運び、人々を結びつけてきました。道守の精神をもう一度確認してそしてともに連携して道守の未来を切り拓きたいというのが開催にあたっての思いです。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

みやざき道守会議

代表世話人 根岸裕孝

第1分科会

ファシリテーター 井上 優氏
会場 1階オルブライトホール

道守の人材確保・育成

福岡

美しいまちづくりは
人づくりとコミュニティづくりから！

平成24年度から国体道路において、大学生や地域住民、子供達と花植や手入れを行い、快適な道路空間を創出しました。

「人づくり」「コミュニティづくり」「まちづくり」を目標にチラシやのぼり



西日本短大生と作業後に記念撮影

で広報し、住民や沿道店舗と共に活動を始め、5年、週1回の手入れは会員、日々の散水は沿道店舗や地域住民が実施しています。今では大学生は社会人、小学生は中・高校生になり、時々参加してくれます。住民の関心が高まり、町内会独自で花壇を整備し、協力者も増加、「国体道路が明るく華やかになり、歩くのが楽しくなった」との声にも地域もまちなちも成長していることを実感しています。

（特定非営利活動法人はかた夢松原の会 理事長 磯谷慶子）

鹿児島

私たちの活動団体の名称は、ばら通り220協力会です。

15年前から、国道220号バイパスの歩道約330メートルに、ばらを500本植栽して、維持管理しながら道路の美化活動、あわせて地域の活性化に努めています。

ばら通り220協力会は、地元の4事業所、3団体で構成しています。私は、その一つの団体、地元町内会の代表をつとめています。

私のボランティア活動人材確保対策としては、「人は、感動を覚えたら動く」です。

そのため、感動を生み出すボランティア活動の現場づくりが必要不可欠だと

思います。

今後とも地域リーダーのみなさんといっしょに話し合いながら、私たち、ばら通り220協力会の活動を、先明るいもの出来たらと考えます。

（札元商工親睦会 西之園実秋）

第2分科会

ファシリテーター 中島 隆志氏
会場 4階大会議室

道守活動の資金調達

佐賀

私たちは、平成九年より清掃や花植え等の道守活動を行っています。

テーマの活動資金の調達についてですが、支出大半が花苗代で、助成金で賄っていますが、不足については、寄付や範囲縮小でやりくりしています。

元々、労力奉仕の清掃活動が原点なので、清掃に専念するのも視野に入れないが活動を続けています。

今年、設立二十年。「資金調達」と併せて「後継者確保」などの課題も抱えており、安定的な組織・活動の運営ができるよう、打開策を模索し活動を続けていきます。

（そうじの会多久の未来を創る会 吉浦啓一）

大分

(1)現況「道守通信」への協賛金募集を積極的に行っている。「H28年秋号」では5社、「H29年秋号」では6社



（見込み）から協賛をいただいた。「賛助会員」（現在23社）に呼びかけ協賛を募っている（年に1回8、9社に呼びかける）。賛助会員を増やすことで自前の財源を確保する戦略。

(2)今後・今年「道路協力団体」に指定されたので、大分県内の各「風景街道」や各「道の駅」と連携して、広告収入等の独自財源の確保を図りたい。

（国立大分工業高校専門学校 亀野辰三）

第3分科会

ファシリテーター 吉武 哲信氏
会場 4階ギャラリー1

道守と地域の連携

大分

2015年、道守大分会議・日本風景街道別府湾岸・国東半島海への道



「美里フットパス」に取組んできました。フットパスとは、FOOT＝歩く、PATH＝小径のこと。地域に残るすばらしい農村景観を歩きながら楽しむ活動で、新しい地域活動として注目されています。

現在15コースを選定して、ガイドマップ等を製作し、美里町を訪問する方々に、新たな美里町の楽しみ方を提案している所です。この活動を地域のツーリズムの核として、さらに充実させることで、美里町の潜在的な魅力を発信したいと考えています。

車からではなく、歩くことで見えてくる地域ならではの風景や、それを守ってきた地元の人との温かな触れ合いを、ぜひ皆さんにも体験していただきたいと思っています。

（合同会社フットパス研究所 濱田孝正）

（酒谷地区むらおこし推進協議会 日高茂信）

第4分科会

ファシリテーター 杉田 英治氏
会場 4階ギャラリー2

まち歩きを通じた地域活性化

長崎

道守の新たな可能性「まち歩きガイド」長崎では、平成18年度に歴史的遺産を市民ガイドが案内する街歩き博覧会「長崎さるく博」を開催。多くの市民ガイドが活躍し、その活動は現在も継続中。

一方、国道周辺には江戸時代の街道や歴史的遺構が多数現存している。道守活動の一環として、道とその周辺の歴史を学び市民や観光客を案内する「道の語り部」になる事が出来れば、地域の新たな魅力発信に繋がるものと考える。今後、ガイド組織や大学と、緩やかな連携を図り、道守の新たな可能性を追求していきたい。

（NPO法人 道守長崎 牧圭子）

熊本

フットパスのススメ

熊本県美里町では、平成23年度より、

（以下「海べの道」・海べの道沿線道の駅3駅は、シンポジウム「3つの輪」を開催。その後道の駅で募金活動を開始、広島土砂災害に約3万円を寄付。2016年第2回を開催、熊本・大分地震に9万円を寄付。2017年第3回では道の駅で「世間遺産」写真展を開催。現在、県内全24駅で、九州北部豪雨募金実施中。一方、2017年7月に道守の「道路協力団体」に海べの道が協力。別大国道歩道橋に横断幕2枚設置。県内8社に広告をお願いし、約6万円の収入を挙げた。

（NPO法人 大分研究所 加藤千明）

宮崎

酒谷地区は、平成5年「酒谷地区むらおこし推進協議会」を立ち上げ本格的に活動を始めました。それまでの地区民の地区のイメージは「何もない所」と思っていたと思います。そこで取り組みの一つの手段として、花いっぱい里を夢見て、できることから少しずつ取り組みました。平成6年には「やちみろかい酒谷」を結成し、日南土木事務所の許可を頂き、道の駅酒谷の国道に染井吉野を植栽したのが最初でした。その後も20数年たち、今では幹回りが1メートル近くになり、立派な花を毎年咲かせてくれるようになりました



き大いに刺激を受けている一人だと思っています。今後に期待し微力ながら協力していきたいと思っています。



活動状況(清掃)



活動状況(点検)

る道路の見守りパトロールという活動や、また、「道守補」以上の方々が長崎県の橋梁・防災点検や県市町土木技術者・工業高校生等へのインフラ研修講師としても参画するなど活躍しています。更に、JICA研修事業として、アジア・アフリカ諸国の土木技術者を対象として、「道守補」相当の研修事業を行うなどグローバルな活動も実施しており、将来のいつの日かには、「ukiyoe」「kawaii」等と同じように、「道守」もそのまま「michimori」と英語になって欲しいと切に願っています。

長崎くんち前
除草・美化活動写真



除草前



花植後



集合写真

「長崎居留地まつり」前に地区内にある花壇に花植え活動を行い、「長崎くんち」前に馬町交差点周辺の植栽帯に花植え活動を行っています。残暑厳しい中、道守の皆さんで熱心に除草及び花植えを行い、その後は地域住民が毎日水やりを行い綺麗な花を咲かせ、お祭りの見物客のおもてなしの準備を整えています。

(道守長崎会議 代表世話人 牧圭子)

道守ができる「おもてなし」

道守長崎会議

長崎



私たちの道守活動

道に出て、道を見つめ、道の問題と向き合う。それは私たち自身の未来を考えること。歩いて楽しく、暮らして楽しい地域づくりのために、九州各地の道守会員が取り組むスタイルやアイデアなどもさまざまな活動を紹介します。

長崎
から
の報告
長崎大学インフラ
長寿命化センター

長崎大学インフラ長寿命化センターは「ヒト・モノ・場所・カネも何もなく、外部資金を獲得し実質的センターとして機能させたい」との趣旨で2007年に設立しました。その中で、橋だけでなくトンネルや斜面や舗装を含む道路施設を見守る「観光ガサキを支える「道守」養成講座」を計画し、道守九州会議の森将彦様にご相談したところ、「道守」を使用することは全然かまわないですよ。一緒にやっていきましょう！」と仰っていただきました。

「道守」養成講座は4コースで構成されており、「道守補助員」は道路の異常に気付ける一般市民を対象とし、「道守補」、「特定道守」及び「道守」は土木技術者を対象とし、点検、診断、メンテナンスを担当できることを目標としています。なお、平成26年に、この「道守」は国土交通省の民間資格として登録されています。これまで737人の「道守」を養成していますが、年に4回長崎市内を清掃しながら異常箇所を点検する「道守」養成ユニット長崎地区」によ



わ | た | し | の | 好 | き | な | 道

久住の財産・芝生の歩道 2.6km

～県道阿蘇くじゅう公園線～

私が好きな道は久住高原にある「芝歩道」です。まわりの草原に溶け込んで、目にも足にも優しい歩道です。ホテルなどに泊まった人が朝の散歩やジョギングを楽しむ道として、また乗馬クラブでは馬の足を痛めない道として利用されています。

この道は2014年8月に整備された大分県竹田市「阿蘇くじゅう公園線」5.34kmのうち2.61kmが地元要望により「芝歩道」となったものです。私は「ぐるっとくじゅう周遊道路」のアンケート調査をしていたこともあり、地元と行政の橋渡しをした記憶があります。

芝生の歩道は県内初で、全国でも珍しい歩道と言えます。周辺には久住の美しい草原景観の中にリゾートホテル、観光牧場、キャンプ場、ワイナリー、花公園などの観光施設が連なっています。

歩道を芝生にするというのは技術的には難しくなく、費用もあまりかかりませんが、問題はその後の維持管理です。芝生を維持するのは大変で、小さな庭の芝生でさえすぐに雑草に覆われてしまいます。幅2.5～5m延長2.16kmもの距離の芝生を歩きやすいよう夏中、刈り込むのは本当に大変なことです。

芝歩道をつくるにあたっては地元の観光施設を中心に「阿蘇くじゅう公園線芝歩道維持管理協議会」を作り、大分県、竹田市との間で維持管理協定が交わされました。協議会会長は「芝歩道を久住の貴重な観光資源、財産のひとつとして、しっかり守り育てていきたい。」とし、3年経った今も実際に美しく管理されています。

アスファルト舗装の歩道でも割れ目や境界から草が生え、結局最後は管理が必要になります。芝歩道は地域企業にとってもメリットがあり、行政はコスト削減ができ、久住に遊びに来た来訪者は楽しめる、良いことづくめの歩道です！「ぐるっとくじゅう周遊道路」の一部でもあり、観光に役立って、地域がますます元気になるといいですね！

プロフィール

原 千砂子 (はら・ちさこ)

大分県別府市在住
松本技術コンサルタント(株)勤務
道守大分会議事務局員
美人温泉道会員



久住ワイナリーにて



20年かけて復旧される熊本城



復旧が期待される南阿蘇鉄道



大きく崩れた国道57号



震災後も野焼きを続けられた

そうした努力にもかかわらず、現実には厳しい。観光客の回復はまだまだだし、北原白秋、与謝野鉄幹らの「五足の靴」で有名な垂玉温泉等への山道は崩壊、閉ざされたまま。大渓谷を渡る鉄橋も被災、人気の南阿蘇鉄道トロッコ列車の復活も時間がかかりそうだ。

阿蘇地方だけでなく、シンボル・熊本城は天守閣が被災、鉄壁と言われた城壁も大きく壊れた。熊本市は20年かけて復旧する計画で、「復興城主」として募金と呼び掛けている。

○再起のきっかけに

風景街道10周年の最初の「阿蘇くまもと路」のイベントは、毎年夏、小中学生約200人が125kmを歩く九州横断参勤交代・徒歩の旅を企画してきた阿南誠志さん（自然を愛する会）らが中心になって企画立案している。

阿南さんは「徒歩の旅は地震後の平成28年夏も実施しました。地震だけでなく、台風、豪雨、噴火などすべてが大自然の活動。その中で人々は被害を受けるが、同時に温泉など自然の恩恵も享受しながら暮らしている。今回のイベントを通じて、それを実感してもらいたい」と話している。

大自然の驚異と恩恵を
実感、再起のきっかけに

日本風景街道は平成29年、発足から10周年を迎えた。全国で139ルート、九州風景街道は14ルートが登録され、九州をほぼ1周するまでに成長した。知名度や活動資金など課題を抱えながら、各ルートの活動は1歩、1歩前進してきた。

10周年を迎え、14ルートが共同で取り組むイベントを行って、次のステップに踏み出そうという企画が進んでいる。これまで各ルートの代表者によって議論が重ねられ、平成29年秋（10月）に、熊本地震で大きな被害を受けた「阿蘇くまもと路」で最初のイベントを行うことになった、被災地の激励、また観光地としての復活の足掛かりとなることを願うのである。

○野焼きの復活

九州風景街道、阿蘇・くまもと路は平成28年熊本地震によって、大きな被害を受けた。風景街道の

風景街道を行く

風景街道10周年イベント



大観峰から阿蘇五岳を望む

九州一周の最初のイベントとなる「阿蘇くまもと路」（予定）では、

1日目、豊後街道の出発地・熊本城からスタート、杉並木の大江街道から清正公道を外輪山の二重峠。石畳の坂道を降りて的石内牧温泉へ。

2日目は斜面大崩壊を起こした南阿蘇村立野の現場や白水水源などを回る予定だ。南阿蘇村や阿蘇市は「このイベントが阿蘇再起のきっかけになって欲しい。阿蘇は元気だと、九州、全国に発信してほしい」と期待している。



池の水が戻った水前寺公園



ここんと湧き出る白川水源

最初に「阿蘇・くまもと路」を歩こう

○「ただの いなかじゃ なかよ」

南阿蘇村の案内看板は、おばあちゃんが「ただの いなかじゃ なかよ」と笑顔を作っているが、その通り、たくましく復興の道を歩いている。野焼きだけでなく、一時は、「源泉が枯れた」と言われた温泉地も完全復活、「大地震、阿蘇の噴火など大地の活動を実感する、まさに阿蘇ジオパークを売り出そう」（阿蘇市観光協会）とたくましい。

しかし、その景観が観光客を魅了してきた阿蘇独特の高原牧草地は地割れや道路崩壊で窮地に追い込まれたが、大草原の輝きを取り戻す「野焼き」に地元の方々と駆けつけた多くのボランティアによって、一部を除いてほぼ例年通り実施された。

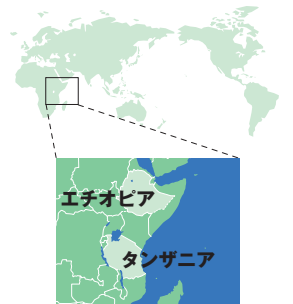
「主たる道路」国道57号は、50万㎡という未曾有の阿蘇外輪山の斜面崩壊（南阿蘇村立野）で大きく損壊、阿蘇市への道を閉ざされただけでなく、南阿蘇村に通ずる国道325号との分岐点に架かる、阿蘇のランドマークだった阿蘇大橋が落橋、俵山トンネルルートの県道28号（熊本高森線）も桑鶴大橋など6橋が損壊するなど深刻な被害を被った。



崩落した阿蘇大橋



50万㎡の大斜面崩壊(南阿蘇立野)



東アフリカの道づくり 雨季は道路が濁流の川に

上国の経済成長を目的とした融資業務を行っています。途上国も経済レベルに幅がありますが、本稿では筆者が世銀職員として経験した国の事例を少しご紹介したいと思います。

世界銀行をご存じでしょうか？1944年7月に連合国44カ国が米国ニューハンプシャー州ブレトンウッズにおいて国連通貨金融会議を開催し、第二次世界大戦後の復興事業のための融資とその保証を行う目的から、国際通貨基金（IMF）とともに国際復興開発銀行（世界銀行 World Bank）の設立を決定しました。日本に対しても、1953年から66年まで名神高速道路、東海道新幹線、北陸電力有峰ダム等31件の事業に8億6300万ドルの融資をしました。現在、加盟途

世銀職員の仕事の1つが、融資が適切に執行されているか現場を確認することです。年2回現地に出張し確認します。交通の不便な箇所も多く、短くても1ヶ月に及びます。世銀はワシントンDCにありますが、米国のライフを楽しんだと思われるかもしれませんが、1年のうち3〜4ヶ月は途上国への出張です。エチオピア、タンザニア等東アフリカが多かったこともあり泊まる場所の確保は大変でした。何しろマラリア蚊が目の前を飛んでいる国でしたから。

通常3年単位で融資をしますが、目に見えて動き始めるのは3年目でした。写真1は完成間近のものです。人海戦術で側溝を整備しています。出来形も頭をかしげるような箇所が多いです。写真2は完成検査時のものです。設計図は美しい花柄模様だったのですが、現場では…。住民目線もまだまだです。写真3は完成検査時のものです。沿線の住宅へのアクセスを便利にするため、住民が側溝を土砂で埋めています。これでは側溝の役割を果たさないうちかと思いつつも、同行したエチオピア道路庁の方は大した話ではないと発言したのが印象的でした。安全や環境も同様です。写真4は交通整理員の写真です。この道路一見普通そうですが、夜が明けると車が道路脇に転がっています。夜は真っ暗になります。夜間の安全性を考えていないのです。

また、交通整理員は3年目の事業にしては真新しいビブスに真新しい旗です。日頃使っているのだからと疑ってしまいます。

維持修繕も担当しました。写真5はタンザニアの地方部の幹線道路です。雨季には道路が濁流



写真1 完成間近の現場の様子



写真2 完成したばかりの歩道



写真3 完成時の側溝の写真



写真4 現場における交通整理員



写真5 雨期になると濁流と化す道路



写真6 マーケットへの散策

と化し、土舗装なので一気に流れ出てしまいます。この道路の維持管理をどうすれば良いのか私に聞いてきます。一朝一夕には解決しません。非常に難しい現場でした。

世銀はこのような現場を検査して最後に Satisfactory とか less satisfactory とか評価するのです。途上国政府は良い評価を得ようと必死です。ここからありとあらゆる交渉術が始まります。世銀の仕事の醍醐味はこの交渉にあるのかもしれない。最後に、写真6は地方部のマーケットに行ったときの写真です。写真にはにいが写りません。強烈なおいを記憶しています。世銀の職を離れたのが約5年前。これらの国々の住民の暮らしが少しでも改善していることを切に望むばかりです。



プロフィール
安部 勝也

宮崎県小林市生まれ。国土交通省福岡国道事務所長。2009年3月から2012年3月まで世界銀行勤務。

道守 人物伝

熊本市・麻生田1町内自治会 会長 故川野 操さん



熊本市街地から北東部、国道3号線熊本北バイパス沿いで一年を通して美しい花を咲かせる、麻生田1町内自治会の道守花壇。平成19年より道守活動をはじめ、女性部のみなさんの協力を得て、年2〜3回の花の植え替え作業の他、随時、除草作業やゴミ拾い等を行っています。通勤通学路でもある道を美しくすることで、通る人に道への関心を持ってもらい、ひいては交通事故防止にもつながると、みなさん汗を流す毎日です。

活動の中心は、自衛隊と会社勤務の後、長年麻生田1町内自治会長を務めてきた川野操さん。バイクで地域を駆け回り、優れたリーダーシップとユーモアあふれる人柄で、地域住民に親しまれた人物でした。町内活動は、一人一人の絆を育む場。共に慈しみ、共に悲しみ、共に喜び、共に切磋琢磨しながら生きていこうと常に語っていたそうです。町内の休耕田を利用して広大な菜の花畑をこしらえたり、その場所に麻生田公園を創立するなど、地域のために情熱を傾けた生涯でした。平成28年11月、逝去。子どもや高齢者にやさしく、温かい気配りと仲間づくりを呼びかけた川野さんの思いは、地域のみなさんに引き継がれ、これからも道守花壇に美しい花を咲かせ続けることでしょう。



道守たちのトピックス

「100回を達成！」「歩く唐津街道の旅」の紹介

100回目は赤間宿・原町・畦町・青柳宿

「歩く唐津街道の旅」は、日本風景街道・九州14ルートの一つである「玄界灘風景街道」のパートナーシップとして、2009年4月からスタートしました。以降、毎月1回の街道遺産発見の旅をつづけ、この2017年7月の旅で、100回を迎えました。基幹ルートは、北九州市門司・佐賀県唐津市の旧唐津街道（約138km）で、この他に長崎街道など周辺の旧街道を訪ねています。この間、参加グッズ等も充実し、延べ歩行距離：約1,600km、延べ参加人数：約2,300人の方に参加いただきました。次の3テーマを目標に更なる継続を目指しています。

- ① 道 の歴史探索、街道遺産発見の旅
- ② 歩き で味わうスローな時、健康チャレンジの旅
- ③ 訪ね てわかる交流、学びの旅



100回記念ウォーク 赤間宿出立式



春の太閤道ウォーク

横顔

九州地方整備局道路部長

前 佛和秀氏



道路部長は、本年7月より秋田県建設部長から現職に就任。北海道出身。「とても熱心に取り組んでいる道守会員の皆様と、九州地域のより良いみちづくり・まちづくりに進みたいと思います。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いします」。

道守通信編集後記

○九州北部豪雨災害で被災された日田市、朝倉市、東峰村などの皆様に心からお見舞い申し上げます。ヤフオクドーム6個分の土砂が流出、一緒に流れ出た流木で被害が拡大し、まだまだ復旧ができていないことに心が痛み、早く元の暮らしに戻れることを願うばかりです。

○巻頭インタビューは、九州地方整備局長に就任された増田さんに道守大分会議の桑野さんをお願いしました。増田局長は福岡市のご出身で福岡国道や鹿児島国道の事務所長や福岡県土整備部長を歴任され、九州の道には精通されて思い入れも人一倍多いことを感じました。

○みちづくしin宮崎2017が10月5日と6日に宮崎で開催されます。今回のテーマは「道育の皆さんが抱えている課題について4分科会で議論を尽くし、全体会で報告されるので、今後の活動の手がかりになればと思います」。

～道守通信 vol.33秋号へ協賛いただいた皆様(団体・企業)～

※順不同

西日本コンサルタント(株)	(株)センコー企画	(株)友岡組
(株)野村建設	(株)地域科学研究所	

～道守を支援いただいている賛助会員の皆様(団体・企業)～

※順不同

(一社)九州地域づくり協会	九州国道協会	九州電力(株)
(一社)プレストレストコンクリート建設業協会 九州支部	(一社)日本道路建設業協会 九州支部	福岡市道路利用者会議
(一社)福岡県建設業協会	福岡県道路協会	(株)大林組 九州支店
(一社)佐賀県建設業協会	佐賀県道路愛護協会	鹿島建設(株) 九州支店
(一社)長崎県建設業協会	長崎県道路協会	建設サービス(株)
(一社)熊本県建設業協会	熊本県道路利用者協会	清水建設(株) 九州支店
(一社)大分県建設業協会	大分県土木建築協会	大成建設(株) 九州支店
(一社)宮崎県建設業協会	宮崎県道路利用者協議会	長幸建設(株)
(一社)鹿児島県建設業協会	鹿児島県道路利用者協議会	(株)高山組
九州技術支援協議会	社会福祉法人 宇水会 特別養護老人ホーム宇水園	(株)熊谷組 九州支店
みちを考える会	朝日開発コンサルタンツ(株)	朝日工業(株)
(株)アジア技術コンサルタンツ	(株)アップス	(株)安部日鋼工業 九州支店
(株) 安藤・間 九州支店	鳥城塗装工業(株)	(株)エスイー 九州支店
NTTインフラネット(株) 福岡支店	NTTインフラネット(株) 熊本支店	NTTインフラネット(株) 鹿児島支店
扇精光コンサルタンツ(株)	大分県建設業協会 大分支部	大分県道路舗装協会
大分交通(株)	(株)大島造船所 九州営業所	(株)荻島組
(株)オリエンタルコンサルタンツ 九州支店	鹿児島土木設計(株)	上内電気(株)
株式会社カンドー 九州支店	川田工業(株) 九州営業所	九建設計(株)
(株)九州開発エンジニアリング	九州建設コンサルタント(株)	九州地区道路利用者会議
九州みちの会	協同エンジニアリング(株)	(株)橋梁コンサルタント 福岡支社
(株)建設環境研究所 九州支社	(株)建設技術研究所 九州支社	(株)建設技術コンサルタンツ
(株)建設技術センター	(一社)建設コンサルタンツ協会 九州支部	コーアツ工業(株)
(株)国土開発コンサルタント	(株)駒井ハルテック 九州営業所	(株)西海建設
(株)サタコンサルタンツ	三州技術コンサルタント(株)	昭和コンクリート工業(株) 九州支店
新成建設(株)	新日本技研(株) 福岡支店	(株)新日本技術コンサルタント
(株)西部技建コンサルタント	(株)センコー企画	(株)総合技術コンサルタント 九州支店
そうじの会(多久の未来を創る会)	農事組合法人そよかぜ館(「道の駅大和」)	大日本コンサルタント(株) 九州支社
大福コンサルタント(株)	太陽技術コンサルタント(株)	宅島建設(株)
谷川建設工業(株)	(株)玉の湯	(株)地域科学研究所
中央復建コンサルタンツ(株)	(株)長大 福岡支社	通信土木コンサルタント(株) 九州支店
(株)東亜コンサルタント	東急建設(株) 九州支店	(株)東京建設コンサルタント 九州支社
利光建設工業(株)	戸田建設(株) 九州支店	(株)友岡組
(株)名村造船所 福岡営業所	南生建設(株)	西日本建技(株)
西日本技術開発(株)	西日本コンサルタント(株)	西日本コトラクト(株)
(株)日建コンサルタント	日新興業(株)	日鉄鉱山コンサルタント(株) 福岡支店
日本地研(株)	(一財)日本造園修景協会 大分県支部	(株)野村建設
葉隠会道守部会	(株)萩原技研	範多機械(株) 福岡営業所
(株)ピーエス三菱	(株)日高時計本店	(株)福山コンサルタント
(株)富士設計	(株)富士ピー・エス	(株)ぶぜん街づくり会社(「道の駅」豊前おこしかけ)
復建調査設計(株) 九州支社	前田建設工業(株) 九州支店	松本技術コンサルタント(株)
(株)丸福建設	(株)水野建設コンサルタント	宮崎空港ビル(株)
(株)宮崎産業開発	宮地エンジニアリング(株) 福岡営業所	八千代エンジニアリング(株) 九州支店
(株)ヤマウ	(株)ヤマックス	(株)ワンステップ
個人会員70名		



発行 「道守九州会議」

広報誌「道守通信」秋号
平成29年9月28日発行

「道守九州会議」事務局

■道守支援室(九州地方整備局道路管理課内)
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
TEL.092-471-6331(代) FAX.092-476-3481

■(一社)九州建設技術管理協会内
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目19番3号
TEL.092-471-0189 FAX.092-414-0767

道守HP <http://www.qsr.mlit.go.jp/n-michi/michimori/> e-mail michimori@qsr.mlit.go.jp